

保育座談會（第一回）

六月七日午後二時から、東京女子高等師範學校附屬幼稚園で保育座談會を開きました。これからも度々催したいと話あひました。當日の出席者、會橋敬授、堀主事、及川、新庄、神原、徳久、白根、澤の各保母。

會橋 サア、これから始めますとかなんとか、

挨拶したらいいでせう。（一同笑）

神原 ではこれから、座談會を始めます。

會橋 題は、

新庄 幼児の仕事の際に於ける保母の態度並に、もし保母の力を加ふべき場合如何程位の程度に力を添へていいでせうか。自由畫、塗繪、切紙等の場合で。それから分團作業の最少限度の人数について等をうかゞひ度いと思ひます。

及川 その中に自由畫の指導といふ事も含まれて居ると思ひますね。皆が疑問があるのですからまづ自由畫からにしませう。

新庄 ふだん、何となくしてはゐますが、このまゝ放つておいては何だか物足りない所があります。

會橋 幼稚園の自由畫の中には色々な場合がある。

新庄 今では子供が勝手にして居りますが、何れまづに指導していいのか……

堀 現れからいふと二つある。黑板の繪と帳面のと。

會橋 まづ、自由畫の名でやつてゐる今の様子を話さうぢやありませんか。

新庄 及川さん、どうしていらつしやるの。

倉橋 何でも描きなさいといふのですか。

及川 私は自由畫のやらせ方を形式的と内容的とに分けてあります。形式的には別に一定の形をとらないでやらせますが内容についてはある時は幼児の自由に、ある時には私の方できめてやらせます。

例へば今日はけしをおかきなさいとか電車をおかきなさいとかいふ様にします。かいてゐる途中では保姆の方では口出しをしないでこれを見てゐて、その結果を見て足らないのはもつとかいせ又いつもかきすぎる子供には適當の時これでおやめなさいとめる事もあります。男の子は材料も豊富で面白い畫も出來ますが女の子はだまつておれば花だのお嬢さんばかりかいて居りますから材料についてもさしづする時もあるつてよいと思ひます。

倉橋 單純に、本當のあそびとして描いてる時、そ

の儘打つちやらかしてあく場合もある。しかしその間に、一齊にやるのではないが——指導と云へば大げさだが——保姆がついてゐるらしくする時は違ふね。

新庄 小さい組と大きい組とは違ひますわ。小さい組では繪の時間を與へられてかく時が多いのですけど、大きい組は遊びとして、何時でも描きたがります。

及川 先生は仕事の積りでも子供は遊びにして居りますね。

倉橋 問題を制限しましょう。幼稚園では必ず子供の繪を描く時に、保姆が手を出す可きだと誤解されると困るから。表現のはたらきに外から手を出すと危険だから、これはこの問題から除いて、保姆が側について居る時の繪を問題とします。事實大人がついて居るのだからね。

及川 ところが皆さんのきく度いところですね。それ

は口でいふ代りに描いてゐる時だから。

新庄 勝手にかいてゐる時は、自由生活ですね。この節はそれが毎日なんです。その間に伸びるような気がします。

倉橋 問題を解釋してみれば、昔は、幼稚園の繪は學校の圖畫の時間の様に、いち／＼直し、成績をとつたものだ。それが自由畫論、自由保育論によつて何にも手出しをしなくなつたのでそれはあまり極端の話です。何かを子供の繪にブラスして行く、問題はそこですね。

堀 自由畫の意味が鮮明りしないが、氣が向いた時に畫く。觀念を自由にするなら幼稚園の生活に多い。それを保姆は打ち捨てゝゐていゝだらうか。ヒントを與へる態度を要求する必要はないだらうか。大體時間を豫定して、かく材料は言はない場合と、及川さんの話の様に、材料を大體ケシ、バナ、等ときめてあつて、觀念を

表現する形式が自由である。こゝらで自由畫と云つてよからうと思ふ。

先生の繪をまねさせるもの、實物の印象を寫生することも自由畫といふか、今の問題は……

倉橋 それを明らかにするには、小學校の自由畫といふものは……

堀 小學校のは範畫をまねするか或は用器畫に對する自在畫のことだ。

倉橋 昔は大體に於て手本を與へた、それは表現の型を與へることになる。

新庄 手本は絶対に使つてはいけないのですね。

倉橋 使つてはいけない。

及川 形式を自由といふことにしてゐます。模倣の結果大人の形式をまねする場合があります。

倉橋 問題を擴げすぎるかも知れぬが、手本を示す時——子供は表現の仕方を全然知らぬとして——それで手本を示すといふこともあるが、も一

つ解釋すれば、いふんな所で繪を見て、實物より先にみて、表現形式を知らず／＼の間に學ぶ。その形式が必ずしも藝術、技巧として一番よく

はない時もあらうし、子供自身の本當の發生的表現法と違ふ場合もありませう。茶碗を線畫で表現するか全體面としてするか何うか分りませぬが、この頃の繪では面の表現が主だが。我國では線畫でエライ繪があるし、子供にみせるのは簡単な線畫である。

子供の繪にかへらせるために手本をみせる場合もあります。

及川 繪雜誌にも線畫はよくありますし、年よりに教はつてゐる線畫をかく子供もあります。そんな子供は幼稚園に入るといきなり、富士、日の出などをかきます。

倉橋 それを本當の表現にかへしてやる……

及川 それはそれとして、形式が大分出來てゐるか

らそんな子供には實物を尙更見せて自分のものとしてそのものゝ感じがあらはされる様に直してやり度い。

倉橋 表現形式は一つの習性の様になるから、茶碗の線畫の手本を見ると、茶碗を線畫で表現するのみならず、凡べてを線畫的に、實物を線畫的に見てしまふ。それをもとに返すには手本が要る。

新庄 その手本はむづかしいですね。

倉橋 或る所で、外國ですが、いはゆる繪手本は與へないが、實物を少し直した立體の手本を與へて居ります。とにかく、本當の意味で手本が與へられれば子供の畫がよくなる。自由畫論者は今まで悪い手本を與へて來たために絶対に手本を排するといふ様になつたのです。今まで表現の仕方を間違へてゐるので、茶碗を線畫でない描き方で與へる。子供が線畫にしてゐるのを、

線畫ではないでせうと誤まつてゐる經驗を直してやる意味で先生が描いてやる手本は必要です。

新庄 この頃の自由畫は物足りないような氣がします。

倉橋 その意味では、ある手本は時々有効であらうとして、手本の問題は打ち切りませう。そこで、其次の問題を、勝手に描いてゐる時でも、誘導で始まつてゐる時でも、自由畫として、その途中でも、結果にでも、全然打ちやらすか。何うするかに問題を極限させよう。話がもとに返りますが、時には、あんな描き方をしてゐる、あそこで困つてゐると見えても、自己經驗をさせるために、あへて知らん顔してゐる時もあるが、これは除いておきませう。

新庄 それぢや……

倉橋 お手本の所以は、筆をとる前に出してやる時

のみならず、途中に一寸黑板にかいてやつたのでも手本。

及川 私のやり方を云つて見ませうか。十五人づゝぐらゐ一緒に畫をかくせてゐるときに横からそれをちつと見てゐてかきすぎの幼兒には「此處でよしておきませう」とか、發表の尠ない子には「この花をも少し小さくさいとかもう二つこの花をかいで見ませう」とか。大體二通りにかきすぎ、かき足りないのに、注意してをります。

堀 兎に角捨てゝおいてはいけない。

新庄 子供がかいた繪をずらりと並べておいて子供同仕で觀させるのは如何ですか。

堀 その場合——子供の觀念が著しく誤つてゐて表現がよく出來ないのと、觀念は正しいのだが表現の仕方が分らず、技能がすゝんでゐないから結果が面白くないものがある。少くとも觀

念の誤つてゐる時はその都度指導していいと思ふ。また表現形式が分らなくつて困つてゐるのを見たならば、途中でも、後にでも、或はその次にでも、一寸ヒントを與へるがよい。幾ら自由畫でも與へて然る可きものだ。

倉橋 同感だ。あまり自由畫の名にこだはり、遠慮し過ぎてはなるまい。但し直す時に、大人の表現形式に合はぬからこうなさい。お手本と違ふからくなさいといふのはよくない。どこまでも子供の表現としてやらなければいけない。

堀 これまでの自由論者は、何でも一切幼児や兒童の自由に放任するやうである。しかし幼兒はまだ表現の形式を知つてゐるわけがなく、繪心は、描かうといふ考へは、表はす腕がないために出ないつていふのが餘程あらう。その時大人の表現形式を傳受しなくともいい。しかし友達の中でも、先生の中でも、見せてもらつてかけると

いふものにはそれが指導となる。

倉橋 子供の繪が「何でもいいのだ」は極端なあやまりで、そこに子供の繪として發生して行く路を知る人、或は、藝術的に廣い理解のある人には、そうはなれない筈だ。

堀 子供の繪は矢張、しば／＼子供にかくチャンスを與へるとその間に表現形式を工夫し、他人の繪を注意して不知々々の間にみてとる。幼稚園の自由畫は其處に價值があるのだと思ふ。私の知つてゐる男が、子供のとき講談本の繪を、よくラクガキしてゐたが、高等師範を途中退學して繪かきになつた。誰に習つたといふのでなく澤山かいてゐるうちに大人の型を眞似てゐる間に、創作が出来る。

新庄 幼稚園でみんながよいと思はれる子供の畫をとつておいたら何うですか。

倉橋 それはいいでせう。しかしその場合に立ち入

つて心配すれば、評價なされる時に、吾々がそれを手本にしてゐるとなれば實は手本主義だ。

新庄 始終出しておきやませぬ、時々出して、何となく。

倉橋 子供の繪で、自分が表現するとすればとても出来ない意外の表現がある、自分の表現と違ふから不安を感じるけれども、これが偉いのだと思ふ。吾々が、新派の人の繪を見るとそれを感じますね。これが本當かと分らないなりに思ふことがありますね。

新庄 まあ子供の畫は少し分へて來たようですから。

倉橋 理解ある大人がみていゝと思ふならばいゝ繪ですね。

新庄 左うやつていゝのを集めておいて見せたりすると、銘々の自由の發表を妨げやしませんか。

堀 先に出してこれを描くのだといへば。

新庄 上手な子供を見て隣の子がかいてゐる場合がよくあります。

及川 えい。

倉橋 繪の様な藝術には子供の中にもいろいろあるので、一般の場合の様に、子供は力が弱いから物が持てなくて困つてゐるんだといふ風に類型的論法は使へない。或子供は手本を與へても獨自立性が動いて來るし、或る子供は、他には獨り過ぎて發展して來ぬ。その時に成績本位ならば手本に頼つて行けば成績をあげられるが、併し、弱いなりに發展させて行くには、そうさせないで氣長に指導して行かなくちやならない。

堀 大體、自由畫で成るべく自由に描かせるといつても子供によつても手加減を加へて行かなければならぬ。手本を見てゐる。うちでは大人

の影響を受けてゐる。子供獨自は尠い。

倉橋 頗る獨自がない。

堀 子供に應じて適當な指導を加へる。

倉橋 所謂、自由を尊重する名に於て子供が何んな畫き方をしようと放任するのはいけない。

堀 そゝだ。

倉橋 私はむしろ、極端にいへば藝術は、知能と違ふから知能のように個人性よりも普遍性が勝つてゐるものと違ふから、其處にゐる大人は自分の流義でやるより仕方がありませぬね、子供の表現や心理學的研究をもとゝしつゝ、自分の流でやるより仕様がない。繪を習ふとすれば何かの流派に入るより仕様がない位に考へる。

堀 此處に於て良い先生を持つ子は幸だ。

一同 おや／＼。

倉橋 親は日蓮宗信仰だが子供の宗教心に既成宗教に型づけるのを遠慮して子供には日蓮宗を示さ

ないようになつてふことは事實に於て有り得ない。矢張り先生のいゝと思ふに基いてやつてゆかなければ先生の仕事が出来ない。ところで、實際論としては繪畫の何ういふ點をより多く注意すべきか。見逃す可きか。

堀 畫面と釣合がとれて現はすのに餘程高尚で、更に美的となるのは一層進んでゐる。組立の事實や、釣合を考へる場合、一つ／＼の線や形に着眼する場合もあらう、子供の發達から云ふと何方から行くだらうか。

倉橋 圖畫は保育事項の目的中には何が主になつてゐるかを見る方がこの問題にらくに近づける。子供の繪にだつて色んなのがあるでせう。幼稚園期にては物を個々としてのみ取扱ふのでプロポーションは七歳にならぬと扱へぬ」とでも斷言して呉れる心理學があるといふね。

及川 ラクですな。

堀 事實そんな風に考へてゐる人があるね。チャンと法則が出来てゐるものゝやうに考へる人が多くて困るね。

倉橋 心理學としての研究の途中にあるものを教育實際に持つて來る一般的誤謬だね。

堀 子供は大人より大局から見て行く所がある。手がなく足が無くとも人だし。

倉橋 或る子供は純然たる畫の形よりもその情緒で描いてゐる。

堀 氣分でかいてゐるつていふんだね。

倉橋 限定して何れとは云へぬが、むしろ、幼稚園では個々の忠實な寫生型よりも、全體の方の傾きがあると云ひ得ないかしら。

新庄 その方が多うございますよ、大きい所に寫生にまゐりますと中に花一つだけか……。

倉橋 描かない場面が非常に多くて、花一つ描いて「これはお庭よ」だからね。

及川 説明が多くて畫が簡單。

新庄 そんな子供には、何うすることも出来なくて。

倉橋 人間に種類がある様にいろいろあるでせうが電車をしきりにかくのは何うですか。個に即してゐるようですね。

堀 バーツと花一つだけかいてゐるのは全體に目をつけたのか、描くことが出来ないのか。

新庄 電車、汽車ときたら大人以上ですわ。

及川 それ許りかくと何うすればいいのかと云ふ事になります。

堀 自由畫でも題目なり、發表の材料をきめることに由つて多方面を練習させることを考へて差し支えない。

及川 同じもの許りかきつゞける子供がありますの。

倉橋 それは勝手畫だね。

堀 そりや或る場合に讃められたからもあるよ。

倉橋 吾々の専門のやうにね。

新庄 男の子にはずる分ありますよ。勝手畫と云つてこれはどんなものでせう。自分が描いてゐる線路と一緒に自分も走つていゝ氣でゐる子供があります。

倉橋 電車そのものをかくのではなくて、自分がその電車に乗つてゐる積りの場合は大きな問題です。その子供のは作品としては扱へません。

堀 それはそれで良かないか。畫だけで表現出来なくて體全體を打ち込んでる。

新庄 描かれた繪を繪として見ればメチャ／＼なんですけどそれをかいた子自身にはチャンと進んで行かれるレールです。

堀 子供の畫が立體を表はせないから、その補助として體を使ひ繪を合せて立體表現をやつてゐる。繪の實用化だ。

倉橋 子供のかく時は大人の實用的にかいてゐるのと違ひ、自分のためにかいてゐるのは事實だ。

新庄 それはもう。それで酔つてゐるんです。

倉橋 それは最も新派な畫だ、

その生活は尊い。

新庄 そんな場合電車が 많이、船は尠いようです、倉橋 相撲人形を取りくませて居る場合、人形をおどらせてはゐるがその實自分が力を入れて四股をふんでゐるのと同じだ。人形がなければそれを畫でやる丈の事だ。

徳久 小さい組の子供で入園して一ヶ月以上もたちますが線だけです。

堀 線だけで満足して居る時期がある。分らないが尋ねると汽車だつて云ふ。

倉橋 厳しく云へば、視覺との違ひを比較する能力が出来てゐない。

吾々が繪を描く時には、ヘンだつて感じが何

時も残つてゐる、觀念許り進んでゐるから。

堀 子供に美醜の判斷が伴つて判斷してゐる時があるだらうか。

倉橋 其んな要素が働いてゐないとは云へないけれども、大人にはそれが主なものだが、それに比べれば、微かなものだらうね。

堀 とすれば、大人の美醜の判斷で等級づけるのは無理だと思ふ。

倉橋 こゝらで一つ實際に自由畫帳を見てみようぢやありませんか。

(各組から自由畫帳を一二冊づゝ持ち來る)
及川 保姆は下手だからかけないと云はないで「これが虎だ虎だ」つて調子に書いたらしいと思ふわ。

(一同帳面を見てゐる。うちでけい古して來る繪、確に手本によつてゐる繪など拾ひ出される。)

倉橋 形式派がありませんか。此方にこれを書いたからあちらへもとかき並べる子供は？

及川 觀てゐるも抽象の方が勝つてしまひます。

倉橋 此れ丈は心理學の方が勝つてゐる。

及川 觀てゐると勝手にかいてゐる子には、それは斯うなつてゐると、私が描いてやります。

堀 表現の先入主だと思ふ。大人がはたから花は斯うく描いてやつたからだ。

倉橋 手本主義の弊だね。

及川 觀てゐても描けないためでせうね。

堀 手が頭から出てゐる。肩から出てゐる様にかけないからだね。

(ねずみをくわへた猫の繪が引き出される。)

牛乳の瓶とバケツが添へられてある。挿繪(一)

倉橋 うまいもんだね。この目は應舉の目だ。體やその他の線にはその子のうまさがある。が併しこの目は手本のうまさだ。

塀庄 この子はそれ丈ぢやなく

て、他の場合にだつて、それ位に表現して居ります。

先日は猫の、ビューツと尻尾を立て、伸びをしたのに七輪、しぶ團扇を添へたのを描きました。自分のものになつてゐるのです。

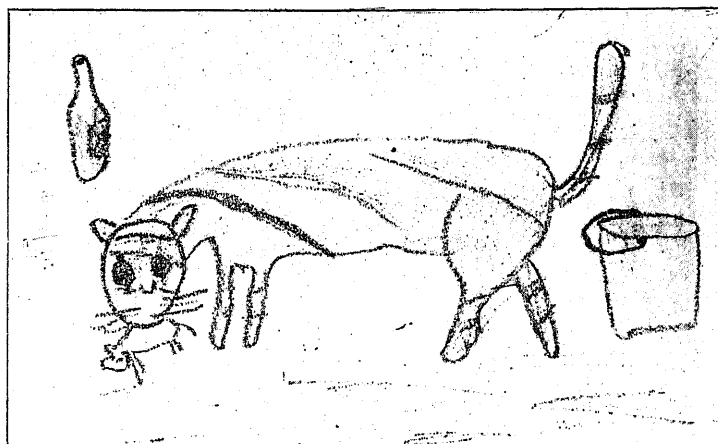
堀

東京の子供にそんな材料が日頃みられるものか。手本だよ。

(新庄保姆しよげる。)

堀

大人の繪を活用してうまく現はすんだからいゝんだよ。傍からとり入れて、斯んなに組立てるんだからエライ



(一)

四二

新庄 それでいゝんですか。

(で、やつと元氣恢復の態。)

及川 自分のものになつてゐますね。

倉橋 子供のことだから理屈は云へないが、成る程といふ所をつかんでゐますよ。

新庄 ふだんに、いろんな場合に相當して描けるのですもの。黒板に描く時でも、その作品を後に下つて眺めながら描きます。他の子供と違ひますわ。手本があつたと云はれて、がっかりさせられましたけど。

倉橋 だから陪審法による必要

があるね。眞似だ　て死んだ型をまねるのと、
成る程と感銘してやつてゐるのとある。

新庄 現はし方がいゝでせう。

倉橋 いや、線がいゝ。これはこの子のものだ。

新庄 えゝ、ずる分いゝと思ふのですが感心しちや
いけませんか。

堀 いゝさ、だけど盡く創作だと思つちやいけな
う。

倉橋 子供のオリヂナリティから出た繪でないとし
て、全體としてうまいぢやないですか。

堀 全體としての繪心が出来てゐる。範畫からぢ
やない自由畫だ。

新庄 先日は、私がオルガンを弾き、多勢でうたつ
てゐる所をちゃんと黑板に描きました。

及川 そう云ふ子供にはそんな事を澤山させたら
いゝですね。

堀 自由畫の展覽會つて云ふのを見に行くと、先

生が直して幾度も描き直させた様なものがある。
直接の機械的模倣でなければ自由畫と云つてゐ
る。

倉橋 全くヘンなものがあるね。

(同じ子供の帳面を見てゆくうちに托鉢僧の
繪あり、同様の畫題が三四枚、日を逐ふて完
成してゐる。挿繪(二)。)

堀 この子供は他人の繪を見る時、實物以上に注
意してゐるんだ。

倉橋 井戸ぢやなくて——中から湧き出る方より
も、吸ひ込みが豊富にあるのだね。吾々では、
いくら托鉢僧を觀てゐたつて斯んなわらぢの紐
のかけ方までには、氣が注ぎませんよ。

新庄 何か見たんでせうね。

倉橋 實物か？

堀 繪だよ、實物ぢやこれだけに描けやしない。

在るものを省略して繪にすることはなか／＼出

來ない。

新庄 だけど、この子供は一般的にうまいでせう？

及川 實物をみたつてかけますね。

新庄 上野に行つて來たと云つて先日描きました西

郷さんは、キモ

ノの紺の模様か

ら、犬を連れ

所を描きました。

及川 (托鉢僧の繪

を見ながら) こ

んな繪がうち

にあるのでせう

よ。

新庄 さうね、懸軸

か、何かにね。いつか尋ねて見ますわ。

堀 歸一式になつたのや、クニ坊式になつた繪が

よくあるが、この子供だつて或る形式に入つて

ゐるね。

新庄 それぢや、やり方を變へなくちやなりません

か。

堀 其んな必要はない。



(二)

新庄 畫才があります

のね——何でも見

れば直ぐ其處から

何かを捕へて行く

——心配ですわね。

及川 この袈裟登りにと

りつけた鯉幟りは

他のに比べて下手

ですわ。斯んな手

本はないからでせ

う。

新庄 この子の繪のうまさももとがあるとするれば、

いやになります。

倉橋 いや、手本から手本らしく描いてゐるのではない。それをいづくつてゐるのでもない。本當の畫才ですよ。だが、これ許りをあんまり讃めないで、他の方面を指導して行けばよい。

堀 (ホラ、此の

ひなげしの寫生は、斯んなに簡單だ。これは手本のない繪だ。

(椅子の背を前にその上に坐つた子供の繪を見つけて、挿繪(三))

倉橋 あ、これは子

供の繪だ。托鉢と比べると違ふね。この子供の鼻は實に苦しんでゐますよ。この子供の繪としては托鉢よりずっといい。苦しんでゐる丈よい。

繪の進んで行く道としてこの方が貴い。托鉢の方に既成價值はありますが。

新庄 托鉢の繪は餘り上手に出來すぎてゐるから、外に原因があると云ふことがはつきりわかつた

わけですね。

倉橋 そのためにその畫のねうちを下げはしない。

新庄 それを仰つて戴きたかつたのです。

堀 其の子は下手だ

と云ふのではない

倉橋 これはこれで

いいのです。けれども大人を感服させる式のうまさの抜けてゐるのがまづいとは云えぬ。

新庄 ホカの子供と比べて其の子が……



(三)

堀 そりや上手だよ。

新庄 その子ばかりではない、他の多くの子供もその同じ路を通つて来た子があると思ひます。けれども其處まで行けなかつた所をこの子供は行きつゝいたとすれば。

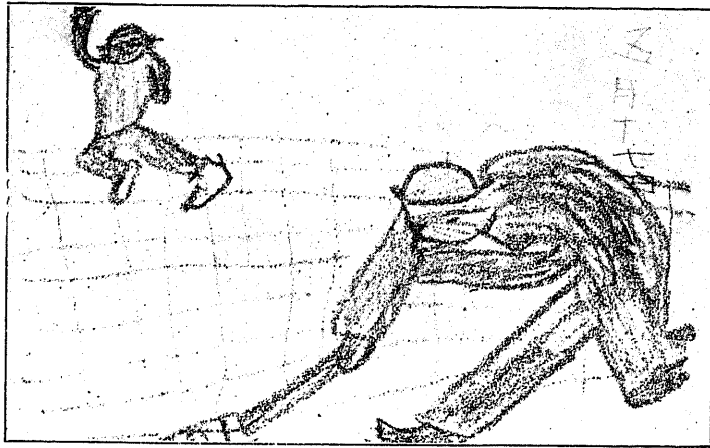
倉橋 極端に云へば、き、よ、う、さ、のために斯んなに迄出来た。

及川 臨畫のうまい人があつて寫生の出来ぬ人があります。

新庄 でもこれは臨畫ではない。

及川 目の前においといて描いたのでないとしても頭に形が残つてゐるのを逐ふたとしたら。

倉橋 此れは臨畫系だね。



(四)

新庄 あゝあ、托鉢僧なんかを描いたばつかりに、損しましたね。

倉橋 吾々でも、このテクニクにはチャームされつちまう。うまいですね。

新庄 先生が感心なすつたからまあいゝとしませう。

倉橋 このうまさ、模倣性だけで出来るものではない。

氣分の捕へ方はいい。但し、但し、テクニクがあると本當の發達を妨げることがあるかも知れぬ。

堀 そこで自由畫論者の八釜しく云ふ所だ。

倉橋 何日か、子供の繪をもつ

と澤山列べて批評しあつてみましようよ。

新庄 今度は托鉢なんか描かないように（と念ずる態）（一同笑）

倉橋 美術學校に入れるとすれば、ある成績は獲るが、何處まで伸びるか先が測られないといふ風には驚かれない。

新庄 つまりさ、ようさのために小さく出来上るのですね。

倉橋 この子供は臨畫的なものを見なかつたらよかつた。

（讀める、下げる、惜しむ、この子供の繪の中に於て、堂々めぐりに一同どつと笑ひ出す。）
新庄 それぢやね、子供の畫は、今まで見たものを除けといつて描けつてことになりましたのね。

堀 見たのを出すのと、組立てゝ出すのとは違ふ。
新庄 本當の、その子供の畫とは？

堀 觀念を子供の表現で描いたものさ、その表現

の組合せがなか／＼出来ない。

新庄 托鉢許り描いてれば、斯んなに、うまいとは思はなかつたのですけれども、見るものを直ぐ上手に書きますもの。

堀 大家の畫を練習するのは、部分を練習して居つて、それを自分の繪に組立てる。ダヴィンチを模寫するのとは違ふ。

倉橋 ダヴィンチの繪を自分の繪にとつて来るにしても、これが、ダヴィンチの鼻、あれがダヴィンチの腕だと分るようぢやね。先日美術學校出の人達の會合で出た話ですが、近頃の子供の繪雜誌は斯う云ふ方面から見て實に有害だと云ふ説が出ました。子供の畫が、繪雜誌の繪に左右されて来るのですね。昔のおばあさんは斯う／＼描くもんだと教へたものだ。吾々は幸にしてぶき、やうだつたからあやまりが無かつた。

新庄 この子供の畫は全體から考へて危険性が多い

でせうか。

倉橋 さあ、危険性かどうかは別として、何しろ、うまいだけに指導法が六ツかしい。一體指導法が六ツかしいなどいふ事はうまい者に向つて云ふ事で、下手なのや、描けないのは伸ばしてやればいゝがこういふうまいのは他方に行きかゝつてゐるのをいゝ道に連れ歸るのだから六ツかしい新庄 丁度いゝ時期にうかゞつてよろしうございました。

倉橋 そんな子が小學校で、類型畫圖百種とでもいふようなものを取つておく畫の先生に指導されたら、村長をおどろかす繪が描けるでせうが、まづ僕達にはこの心配はない。

新庄 まづい方がいゝことになりませうね。

倉橋 そうも斷じていへない。

堀 この子供は個性が強くない。

倉橋 順應型の子供だ。

新庄 苦しめたらこの繪はよくなるのでせうね。

倉橋 苦行すれば。エライ先生がついてゐて、これもおまへのものぢやない。これもこれもとね。うんとたゝかれるとね。

新庄 この子供の事はもうよしときませう。

倉橋 既成品としてはいい繪です。たゞ、生活としての眞實要素は、と見た時に薄弱なんですわ。

新庄 も一度云はせていたゞきますわ。他に、幼稚園の子供に、この子供と同じ様に、手本のある子供が澤山あります。

倉橋 そりや澤山どころか、大體が、ですよ。

堀 いや、幼稚園も、小學校も、大體これでやつてゐるでせう。

倉橋 吾々は見にくゝこれをやつて來たので、人が問題にもしてくれなかつたのです。マルを二つかいて犬、犬は斯く描くものと教つた。

(以下五十二頁につづく)

を通つてはじめて獨創的な話方が可能であり、時

として其の志さへあればお話創作の方にまで進めるのに、はじめから好いお話を採らず、採つても分解もせず、再構成もせず、苦しんで丸讀記を試みたり、あるひは好い加減に押片附けて、材料のない時には創作とも何とも名附けやうのない一時のがれをやる人が、ほんたうにお話が出来なくなるといふのは、ちよつと聞くと不思議のやうにも思はれるが、これは不思議でも何でもない。つまり前者はお話を調べ、後者はお話を調べない、といふだけである。

お話の調べだけが大切で、話方の研究は疎漏でも好いのかと言ふ人があるかも知れないが、話方は其のお話を離れてないわけである。又話方を調べて、お話に通ずることは出来ないが、お話を調べる事から、それを話す仕方がいくらでも考へられると思ふ。

(五〇頁よりつづく)

堀 僕は二本棒のヒバシからだつたよ。

新庄 私共、幼稚園の敎生の時に、やつぱりそんなでした。その當時の保育案が残つてをりますわ。

倉橋 私に描ける繪が四つだけある。その他は何れも描けないけれども、これ丈はうまい。母に教つて、小さい頃描いたその繪です。

(先生、即席揮毫をなさる。あり合はせの紙の裏に金のエバーシャープが一氣に描き出したものは。人物二種、横向きに立つ人と碁盤を圍む二人、何れも當代の子供繪には見ようにも見られぬ文人畫。その次が、蟹。蘭一葉だけ折れて破調の味。それから之れも唐畫風の籠に盛つた果物。)

堀 サア、もうこの邊で閉會にしませう。

時に、六時。